

小児がんの子どもへの教育セミナー

わが国では年間2,000～2,500人(広島県では50～60人)の子どもが小児がんと診断され、長期の入院治療を余儀なくされています。

近年、小児がん治療成績は目覚ましく向上し、多くの患者さんががんを克服して、通常の生活を送ることが可能となってきています。

このような現状から、小児がん患者が安心して学業に励むことができるよう改正がん対策基本法では、「国及び地方公共団体は、小児がんの患者その他のがん患者が必要な教育と適切な治療とのいずれをも継続的かつ円滑に受けることができるよう、必要な環境の整備その他の必要な施策を講ずるものとする」という条文が明記されました。

小児がん拠点病院として、長期にわたり治療が必要となる小児がん患者の継続的な教育提供体制について、広島県の医療、教育関係者で現状理解と課題解決に向けて考えていきます。

開催日時 ▶ 平成29年3月4日(土)13:00～16:30

開催場所 ▶ 広島県医師会館 2階 201会議室
〒732-0057 広島市東区二葉の里三丁目2番3号

参加対象者

広島大学病院
(小児がん拠点病院)

- ▶ 広島県内の小・中・高等学校長、
特別支援学校教員、養護教諭等
- ▶ 教育委員会等の教育行政関係者
- ▶ 小児がん医療に携わる医療従事者
(医師、相談員等)



主催 広島大学病院 (小児がん拠点病院)
共催・後援 広島県, 広島県教育委員会, 広島市教育委員会

プログラム

13:00 開会のあいさつ 広島大学病院 小児科 教授 小林 正夫

- 第 1 部 -

「講演」

司会 広島大学病院 小児科 教授 小林 正夫

13:10 「病弱児(小児がん患者)教育の現状と展望」
関西学院大学 教育学部 教授 丹羽 登 先生

13:40 「病弱児教育を受ける立場からの現状と課題」
難病学生患者を支援する会 久保田 一男 様, 久保田 鈴美 様

14:10 「NPO法人における病弱児(小児がん患者)教育への取り組み」
病気の子どもの学習・復学支援 NPO法人ポケットサポート 三好 祐也 様

14:40 「障害者(児)教育への支援」
広島市立戸山中学校・戸山小学校 校長 村田 吉弘 先生

15:10 休憩

- 第 2 部 -

15:20 「総合討論」
改正がん対策基本法の基本理念を具現化するための、小児がん患者に対する教育支援のあり方や体制の構築について、参加者を交えた意見交換を行います

16:20 閉会のあいさつ 広島大学病院 小児科 診療准教授 川口 浩史

参加申込は、広島大学病院医療支援グループへお知らせください。

☒ : byo-renkei @ office.hiroshima-u.ac.jp Fax: 082-257-1720 Tel: 082-257-5279
※定員になり次第受付を終了いたします